



世界が注目する島根出身の現代美術家 加藤 泉 氏の絵画 3 点を島根県が初めて収蔵

8 月 20 日 (木) より島根県立石見美術館にて特別公開
10 月 4 日 (日) には、作家本人が登壇するトークイベントも開催決定

島根県芸術文化センター「グラントワ」(島根県立石見美術館)では、このたび島根県安来(やすぎ)市出身の世界的アーティスト、加藤泉氏の絵画作品 3 点を、本県として初めて収蔵いたしました。

これら新収蔵の 3 作品は、令和 8 年 8 月 20 日 (木) ～10 月 12 日 (月・祝) に開催するコレクション展「ひとのかたち」にて公開します。

また、会期中の 10 月 4 日 (日) には、作家本人が登壇し、展示作品や制作についての思いを語る「アーティストトーク」を開催いたします。ぜひともご紹介・ご取材いただきますようお願いいたします。

1. 展示公開および関連イベント概要

【1】新収蔵作品の展示公開 (コレクション展「ひとのかたち」内にて公開)

- ・会 期：令和 8 年 8 月 20 日 (木) ～ 10 月 12 日 (月・祝)
- ・会 場：島根県立石見美術館 展示室 C (「グラントワ」内)
- ・観覧料：一般 400 円、大学生 260 円、高校生以下無料

【2】関連プログラム「アーティストトーク」(イベント)

- ・日 時：令和 8 年 10 月 4 日 (日) 14:00～ (所要約 1 時間程度を予定)
- ・会 場：島根県芸術文化センター「グラントワ」 講義室
- ・出 演：加藤 泉 氏 (アーティスト本人)
- ・定 員：50 名 (事前申込制・先着順、参加無料)
- ・申 込：申込方法などの詳細は、後日グラントワ公式ホームページにて発表します。

2. 新収蔵作品の概要



(1)



(2)



(3)

(1)

《MACHINE G》 1992 年 (162.0×130.5 cm) ミクストメディア
武蔵野美術大学を卒業した年に制作された、最初期のコラージュ作品。

(2)

《ビルマニア》 1997 年 (160.0×133.0 cm) アクリル絵具、綿布
加藤氏の代名詞である、抽象的な「人型」モチーフが定まった頃の重要作。
※ (1) (2) は 90 年代の作品としては日本の美術館で初の収蔵

(3)

《無題》 2024 年 (162.5×162.5 cm) 油彩、カンヴァス
2025 年に当館（石見美術館）で開催した大規模個展のために制作され、ポスター等の広報ビジュアルにも使用された作品。

■ 作家略歴

加藤 泉 (かとう いずみ)

島根県安来市生まれ。1992 年、武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。2007 年の第 52 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に招聘されて以降、世界的に評価が高まる。2018 年にレッドブリック美術館（北京）、2019 年にハラ・ミュージアム・アーク（群馬県）および原美術館（東京都）、2025 年に島根県立石見美術館で大規模な個展を開催。現在は東京と香港を拠点とし、世界各地で作品を発表。

加藤は 1990 年代の終わりから現在に至るまで一貫して「人がた」とよばれる抽象的な人体をモチーフとしてきた。2003 年頃からは木彫の制作を開始、2010 年代からはソフトビニール、石、布、プラモデルなど様々な素材を取り入れ、表現の幅を広げている。

島根創生計画	VI心豊かな社会をつくる 2 スポーツ・文化芸術の振興 (2)文化芸術の振興(P.81)
--------	--

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和8年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/yosan/yosanr8/r8gaiyou.data/sinkikakuur8.pdf>



(島根創生計画[第2期])

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku2nd.pdf>

